

流通業界に最新情報を発信

開催会場を幕張メッセに変更

スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会「第51回スーパーマーケット・トレードショー2017」が、2月15〜17日で幕張メッセ全館を使用して開催される。主催の新日本スーパーマーケット協会（横山清会長）によると今回の出展社数は2054、小間数は3340（出展社、小間数ともに1月31日現在）で前回を超える規模で展開される。51回目を迎える今回のメインテーマは「創二

ッポン」。今回から会場を幕張メッセに変更したことで展示内容をカテゴリーごとにゾーニング分けされたレイアウトから休憩、情報整理を目的に利用できるバイヤーズラウンジを設置しているなど、出展社、来場者にとっては従来以上に増して商談に特化した展示会となっているはずだ。ここでは、注目の出展企業・製品を紹介する。

進化した日本のSRP

クラウン・パッケージ

より商品に合った訴求が可能に

△小間 6-1302V
クラウン・パッケージ（東京都台東区、☎03・5846・3111）は、「進化した日本のSRP『パリッボックス』」写真の「商品訴求で販売力UP」をテーマに出展す

△小間 6-1302V
クラウン・パッケージ（東京都台東区、☎03・5846・3111）は、「進化した日本のSRP『パリッボックス』」写真の「商品訴求で販売力UP」をテーマに出展す

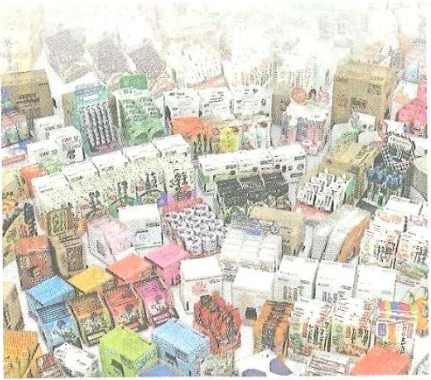
だ後、店頭で外箱を取り外しそのまま陳列が行える。作業性に優れ、多彩な素材と印刷を組み合わせて、販促効果とコストメリットを考慮した選択が可能。輸送箱とディスプレイを兼用できるため包装材料の削減も実現する。開発から10年以上蓄積した経験に基づき、パリッボックスはさまざまな進化を遂げている。その一例として、十分な売り場スペースが確保できない店舗向けに、「置く」「吊り下げ」「引く」の3wayタイプの形状を開発。たとえば野菜コーナーにドレッシング

まで開封後に廃棄していた外箱をディスプレイ台として活用し、売り場演出と資材の有効活用を両立した提案を行っている。

展示会では、売り場に合わせたPOP形態で、商品訴求の付加価値を加えたパリッボックスを数種類展示。そのほかに、原紙と印刷の組み合わせで省資源と機能、コストパフォーマンスを訴求した「TKP（マイクロフ

また、床置きタイプのフロアディスプレイボックスを出品する。ブースにはデモンストレーション（D RP）フロアパレット」は、季節商品などの分野で需要が伸びている。フロアパレットでは、これ

包装タイムス
2017年2月13日
5面 SMTS特集



「TKP（マイクロフ